

薬物治療学Ⅵ Pharmacotherapy Ⅵ

薬：E3-12613MY

医療科目 6年／前期 1.5単位 必修科目

科目責任者 安 武夫(臨床薬効毒性解析学研究室)

■教育目的

この講義では、4年次までに薬物治療学の系統講義を履修し、5年次の病院および薬局における標準実習と各特別コースを履修した学生に対して、総合的な観点で薬物治療学の授業を行う。学生は、教員の思想、体験、歴史を背景とした講義に、主体的に参加し、自らの意見を述べて授業に参加することが求められる。【卒業認定・学位授与の方針：YD-③、⑤、⑥】

■学習到達目標

1. 受け身の講義ではなく、自らが意見を述べて授業に参加できる(知識、技能、態度)
2. 薬物治療の最先端の問題を理解できる(知識、技能)
3. 薬物治療を社会的な観点から考えることができる(知識、技能)
4. 患者と医療者の関係を自らの問題として考えることができる(知識、技能、態度)

■準備学習（予習・復習）

予習：シラバスで提示された講義内容の予備調査(20分以上)

復習：該当講義の知識確認と不足部分の補充に関する自主学習(20分以上)

■授業形態

講義

■授業内容

知識伝達型の講義ではなく、担当教員がそれぞれの専門分野において最先端の医学問題、社会的な問題などを取り上げ、学生自らが問題を生み出し考える講義を行う。

No.	項目	授業内容	学修／SBOコード
1	女性疾患	月経異常、高プロラクチン血症、子宮筋腫、子宮内膜症、避妊、妊娠、抗リン脂質抗体血症、妊娠高血圧症、分娩、更年期障害、ホルモン補充療法など	E2(3)-③-6～8 E2(5)-②-5
2	妊婦・授乳婦の薬物治療	妊婦・授乳婦の薬物治療	E3(3)-④-2
3	小児の薬物治療 1	小児の薬物治療(1)	E3(3)-②-1
4	小児の薬物治療 2	小児の薬物治療(2) アトピー性皮膚炎・感染症治療など	E2(6)-③-1 E2(7)-③-1
5	漢方薬総論 1	漢方薬総論(1)、代替医療など	E2(10)-②-1～3 E2(10)-③-1
6	漢方薬総論 2	漢方薬総論(2)、OTCの漢方薬、漢方薬・サプリメントとドーピングなど	E2(10)-①-4 E2(10)-②-1～3
7	医薬品の安全性と管理	医薬品の安全性と医薬品管理	E1(4)-①-1～3 F(2)-⑤-1～13 F(2)-⑥-1～7
8	検査値・画像、心電図	薬物治療の評価に必要な検査値・画像、心電図など	E1(2)-②-1～8
9	感染症総論	感染症総論	E2(7)-①-1～2 E2(7)-②-1 E2(7)-③-1～10 E2(7)-④-1～6 E2(7)-⑤-1～2
10	移植と感染制御	移植と感染制御	E2(8)-③-1～4 F(2)-⑥-4,5,6
11	がん薬物治療総論	がん薬物治療総論	E2(7)-⑧-1～13
12	緩和総論	緩和総論	E2(7)-⑨-1～2
13	栄養療法特論・演習	栄養療法の概念と演習	F(3)-③-5,6
14	急性期・周術期医療における薬物治療	救急医療・集中治療・周術期における薬学的管理と薬物治療	F(1)-③-9
15	最新の薬物治療	注目されている新薬や代表疾患における改訂された治療ガイドライン	F(3)-④-1～4,8,9

■ 授業分担者

野澤 玲子(No.1)、山谷 明正(No.2,3,4)、馬場 正樹(No.5,6)、花井 雄貴(No.7,9,10)、櫛山 暁史(No.8)、杉 富行(No.11)、永井 純子(No.12)、安 武夫(No.13～15)

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

期末試験(100 %)で総合評価を行う。

■ 教科書

講義プリント